

目次

はじめに	☆ 平田 光司 ☆ ..	i
「湘南レクチャー2004」開講にあたって	☆ 西田 篤弘 ☆ ..	iii
第 I 部 科学原論		1
第 1 章 科学における社会リテラシーの展開	☆ 平田 光司 ☆ ..	3
1. 研究者のキャリアパスとポストク問題		4
2. ポストク問題の構造		6
3. 専門家と社会		11
4. 科学と社会の双方向的コミュニケーション		18
第 2 章 科学哲学① PVS患者の生と死	☆ 金森 修 ☆	27
1. PVSの定義		28
2. カレン・クインラン症例		29
3. その後の代表的な関連症例		33
4. PVS問題についての私的結論		38
第 3 章 科学哲学② クローン研究をめぐる諸問題		
	☆ 金森 修 ☆	51
1. クローン人間		51
2. ヒトクローン胚		60
第 4 章 科学哲学③ 治療を超えて	☆ 金森 修 ☆	73
1. 「治療」と「治療以上」について		73
2. 「より良い子ども」つくりへ		75

3. 「卓越した個人の能力」への強化.....	80
4. 「幸せな魂」を求めて.....	83
第5章 「市民のための科学」の可能性 ☆ 上田 昌文 ☆....	91
1. 市民科学研究室の概要.....	91
2. 市民科学の社会の中の位置づけ.....	110
第6章 質の高い科学的証拠とその利用 ☆ 柳本 武美 ☆....	123
1. 「質の高い科学的証拠」の意味.....	124
2. 「質の高い証拠」を求める方法論.....	128
第7章 社会のための科学 ☆ 永山 國昭 ☆.....	143
1. なぜ今社会のための科学なのか.....	143
2. 個人ゲノム解読実現への進展と社会的意義.....	148
3. 新しい社会のための科学.....	158
第Ⅱ部 科学政策・行政	163
第1章 SCIENCE POLICY IN THE U.S	
☆ Dr. Christopher A. Loretz ☆....	165
Abstract.....	165
Outline.....	165
I. Introduction.....	166
II. History of American Science Policy.....	168
III. Research and Development (R&D) Investment.....	174
IV. How Science Policy is Determined.....	182
V. The Budget Process.....	185
VI. Funding Agency Perspective—National Science Foundation	186
VII. Where to Find More Information.....	190
VIII. References and Resources.....	190

第2章 専門知と公共性	★ 藤垣 裕子 ★	193
1. 科学の特性 (1) タコツボ化		194
2. 科学の特性 (2) 作動中の科学		197
3. 社会の特性		199
4. タコツボ化の問題		202
5. まとめ		209
第Ⅲ部 科学と社会のコミュニケーション		215
第1章 情報社会変容	★ 合庭 惇 ★	217
1. 情報社会のゼログラム化～アトムからビットへ		219
2. アイデンティティの変容		226
第2章 日本の博物館・科学館	★ 縣 秀彦 ★	239
1. 日本における科学文化の現状		239
2. 博物館・科学館の現状と展望		244
3. 科学文化の創造と総研大		253
第3章 フィランソロピーと科学	★ 出口 正之 ★	259
1. フィランソロピーの背景		259
2. フィランソロピーとは何か		260
3. フィランソロピーの現状と展望		265
4. フィランソロピーと科学者		267